

九条の会・石川ネット ニュースレター

2009.7.2 発行

No.13

連絡先 / 〒920 - 0912 金沢市大手町9 - 29 社会法律センター気付

☎ 076-231-2110 <http://www.9jo-ishikawa.net/> E-mail office@9jo-ishikawa.net

「5・3石川県民集会」に約600名が参加

5月3日の憲法記念日に、石川県文教会館で「輝け9条！ 許すな改憲！ 平和憲法施行62周年記念石川県民集会」が、約600名の参加のもと開かれました。

「でえげっさあ」の歌と演奏の後、瀬端由紀子さんの司会で集会は始まりました。最初に、五十嵐正博・呼びかけ人が開会のあいさつをおこないました。五十嵐さんは、改憲派が来年5月の国民投票法施行にむけて着々と準備を進めていることに警鐘を鳴らすとともに、オバマ政権が軍事・経済の分野で対日要求をエスカレートさせることに警戒すべきこと、また、海賊対処法案には断固反対するべきであり、ソマリアの内戦に介入し武器を輸出してきたアメリカを始めとする五大国の責任も問われなければならないと訴えました。



五十嵐正博さん

続いて、落語家の立川談之助さんと演芸作家の稲田和浩さんが、「戦争は笑いも殺してしまう」という演題で、「禁演落語」の講演と「口演」をおこないました。稲田さんは当時の落語会が、戦争中だから「時局にふさわしくない」と言って、53席の演目を自主規制して封印してしまったことを紹介し、そんな時代をくり返してはダメと訴えました。立川談之助さんは、その禁止演目となった落語の一節を上演しました。「どれくらい恐ろしい反戦落語か？」と思いきや、ごく普通笑い話で参加者は大爆笑。「落語なんかを聞いていると戦争に勝てない」のだったら、「どんどん落語を聞いて笑って戦争のない世界にしましょう」と話を締めくくりました。



稲田和浩さん

集会が盛りあがるなか、『戦争中毒』を訳された翻訳家きくちゆみさんが登場。日本もアメリカの同盟国として「対テロ戦争」にいまなお参戦していることを決して忘れてはならないと訴えました。またビデ



立川談之助さん



きくちゆみさん



小牧純爾さん

オを使いながら、「9・11同時多発テロ」が実はアメリカ政府の自作自演であると説き、イラク民衆が殺戮され米兵が死傷している戦争をストップさせるために、様々な方法で日本政府に働きかけましょうと呼びかけました。

その後、集会アピールが参加者全体の拍手で採択されました。最後に小牧純爾・呼びかけ人が閉会の挨拶をして、集会は無事終了しました。

当日のアンケートでは、「大変よかった」が55%、「よかった」が32%と、全体として好評でした。ご意見を少し紹介すると、「でえげっさあ」の「歌は感性で九条の大切さを感じることができました。」(50代女性) 稲田和浩さんのお話は、「話が上手く、甘い声で、大変に良かったと思います。」立川談之助さんの落語は、「歯に衣着せぬ庶民の笑いでした。」(40代男性) 「“笑い”は人間にとって大事なこと。“笑い”が否定されるのは人間性の否定なのかもしれない。」(40代男性) 「禁演落語という事が行われた歴史があった事を初めて知りました。落語や笑いが自由に出来ない時代はご免です。」(50代女性) 「難しい内容を分かりやすく笑いに消化してもらってよく理解できました。若い人に笑いを通して戦争の愚かさを知る機会が増えればよいと思う。」(60代男性) 「禁演落語が再び実施されないよう九条の会の一層の奮闘が期待される。油断は禁物。敵の弱点を研究し、次の総選挙に勝利しよう。」(70代男性) 「時代を風刺して面白かった。普通のテレビでも聞きたいと思った。」(80代女性) などなどの声が寄せられました。

きくちゆみさんの「9・11はアメリカ政府が仕組んだもの」とのお話には、多くの方が驚かれたようでした。アンケートでは、きくちさんのお話で印象に残ったこととして、「私の貯金が戦争の資金になっているなんて知りませんでした。戦争はよその国のことでは全然なかったんですね。」(30代女性) 「9・11テロ自作自演説。真実であるならば、もう一度根底から考え直さなければならない。」(40代男性) 「分かりやすく全部よかったです。」(50代女性) 「9・11の真実が放送されていないということ」(70代男性) 「アメリカの9・11の事件は詳しく聞きました。大変興味を持ちました。大変よい話でした。」(80代女性) などの感想が多く集まりました。

九条の会・石川ネットの今後の活動や運営に望むことについて、30代の男性より、「年配の方が多いのが気になりました。もっと若い人が参加しやすいイベントや講演会を企画していただきたいです。」とのご意見をいただきました。

アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

世界平和は一人一人の責任と行動に

5月4日付毎日新聞

憲法9条守る集会

憲法記念日の3日、9条を守ろうとアピールする「輝け9条！許すな改憲！県民集会」（九条の

憲法記念日の3日、9条を守ろうとアピールする「輝け9条！許すな改憲！県民集会」（九条の

憲法記念日の3日、9条を守ろうとアピールする「輝け9条！許すな改憲！県民集会」（九条の

憲法記念日の3日、9条を守ろうとアピールする「輝け9条！許すな改憲！県民集会」（九条の

金沢で市民ら600人



「戦争はしないときっぱり言うよう、政府に働きかけることが市民の役目」と語るきくちゆみさん—金沢市尾山町の文教会館で

「戦争はしないときっぱり言うよう、政府に働きかけることが市民の役目」と語るきくちゆみさん—金沢市尾山町の文教会館で

今思う

荒島 勝夫（元・連合石川会長）

毎月9日、体調と相談しながら、9条の会石川ネットの街頭行動に参加しています。場所は香林坊、パンフレット配りとマイクで「戦争の悲惨さと、9条が平和の砦であること」を訴えています。「年寄りの冷や水」「幾つになっても好き」などと冷やかす人もいますが、好き・嫌いなど軽い次元ではなく、戦中・戦後世代の遺言のつもりで活動しています。

64年前の戦争の実相を体験した最後の世代として、「戦争のむなしさ・悲惨さ」を若い人たちに伝える責任があると考えているからです。自分に残された時間はあと僅かですが、次の世代に伝えなければならないこと、それが「憲法9条」だと考えております。歴史の勉強は、中世や古代史より先に、なぜ惨めな戦争敗北の道を走ったのか、父母や祖父母の生きた時代から、「戦争と平和」について学びとって欲しいものです。

ピラを受け取らない若い人が多い中で、「お嬢さん、平和があなたの人生の基本ですよ」という呼びかけに、最近では反応が少しずつ増えて、また力が湧いてきています。毎月9日の街頭行動のメンバーが増えて欲しいものです。

<改憲をめぐる動き>

- 2月24日 日米首脳会談で「工程表にそって、在日米軍再編の着実な実施」を確認。
- 4月2日 新憲法制定議員同盟(自民・民主・公明・国民新の改憲派議員で結成 / 中曽根元首相が会長)が定例会を開催。
- 4月14日 「在沖縄米海兵隊グアム移転協定」衆院通過。
- 4月 総務省が、改憲手続法(国民投票法)の「周知」パンフレット『ご存知ですか?平成22年5月18日から「憲法改正国民投票法」が施工されます』などを作成、都道府県・市町村の窓口で配布を開始。
- 5月1日 新憲法制定議員同盟が「新しい憲法を制定する推進大会」を開催、1200人参加。
- 5月3日 「輝け9条!許すな改憲!平和憲法施行62周年記念石川県民集会」を開催。600人参加。
- 5月15日 浜田防衛相は、ソマリア沖に海自のP3C対潜哨戒機部隊(2機、約150人)を派遣する命令を出す。
- 5月17日 民主党・鳩山代表がNHKの番組で、憲法審査会で「議論は始めても結構だ」と述べる(鳩山氏は新憲法制定議員同盟の顧問)。
- 6月9日 自民党政務調査会が「敵基地攻撃能力」の保有や軍事費の増額などを盛り込んだ「提言・新防衛計画の大綱について」を正式決定。
- 6月11日 衆議院本会議で自・公などの賛成で衆院憲法審査会規定を可決。
- 6月18日 麻生首相が北朝鮮船舶の貨物検査をおこなうための特別措置法を今国会での成立を目指すとして述べた。
- 6月19日 自・公は「海賊対処法案」を衆議院本会議で再可決、成立させた。

憲法問題 Q&A

Q 「敵ミサイル基地」攻撃も「専守防衛の範囲内」!?

A 自民党政務調査会は、政府・防衛省が年末に改定する「防衛計画の大綱」に自民党の防衛政策を盛り込むために、6月9日に「提言・新防衛計画の大綱について」を正式決定しました。この「提言」には、「敵基地攻撃」論をはじめとして、アメリカ本土を狙う弾道ミサイルを迎撃できるようにするための集団的自衛権の行使の容認、軍事費の増額、武器輸出3原則の「緩和」、さらには憲法の改悪までもが列挙されています。「北朝鮮が核保有国となることを追求している」のであるから、「座して死を待つ」ことなく「わが国自身によるミサイル基地攻撃能力を保有」すべきだとして、巡航ミサイルや弾道ミサイルを保有すべきというのです。

自民党国防族は、北朝鮮の核実験やミサイル発射を格好の口実として、「専守防衛」という前提のもとでも北朝鮮に先制攻撃をしかけることを正当化しているだけではありません。「米国の情報、打撃力とあいまった、より強固な日米協力体制を確立することが必要」として、安保同盟の強化を積極的に位置づけているのです。

その目的を実現するために、近年、中国・ロシアの軍事力が増強されていることを指摘し、これに見合う形での軍備の増強を要求しています。世界的な不況のもとで、困窮する市民生活を顧みることなく、各国が軍事力の増強を競い合っています。日本をアメリカとともに「戦争のできる国」にしてはなりません。軍隊のない平和な世界を実現するためにがんばりましょう。

各地の九条の会からのお便り

反戦平和の輪を広げよう！

九条の会・七尾

5月17日に金沢紫金草合唱団を迎えて第2回平和のひろばを開催しました。「生かそう平和憲法」のビデオ映像と合唱朗読構成『紫金草物語』の歌声は、参加した多くの市民に「不忘歴史 面向未来」の熱いメッセージを届けてくれました。会場でのイスラエルのガザ攻撃写真展や、平和への願いをこめた友禅染め・木彫展も好評でした。

秋（10月中旬）には七尾市で県と国共催の国民保護実動訓練が予定されています。私たちはこれを戦争のできる国づくりに向けた国民総動員態勢への動きととらえ、7月5日午後1時半から七尾鹿島労働会館で川本藏石弁護士を講師にお招きして学習会を開きます。みなさんのご参加をお待ちしています。（学習会に関するお問い合わせは0767-72-3414高瀬まで）

加賀九条の会だより

加賀九条の会事務局長 佐藤公男

4月26日、これでいいのかメディアの役割・本当のことは知らされているの？と題し、元日本テレビワイドショープロデューサー仲築間卓三さんを迎え、加賀九条の会四周年記念のつどいを開催しました。2011年から移行する地上デジタル化問題や有事立法とタマちゃん騒動、白装束一団など最近のフレームアップ問題と多岐にわたるテーマです。また、年末から三ヵ年13回放映されるNHK大河ドラマ「坂の上の雲」に関連し、生前、司馬遼太郎氏はこの作品の映画化やテレビ化を危惧していたこと、この時期になぜ「明治栄光論」なのか護憲運動との関係で問題提起もありました。市内黒崎町の「日本元気劇場」ではロケ地として誘致し観光客を呼び込もうと原寸大の「戦艦三笠」を復元中です。東郷元帥の宣伝に負けるな、韓国併合100年の歴史を語りましょう。いよいよ私たちの出番です。毎月の事務局会議も定着し9の日駅頭早朝宣伝も開始しました。8号線に憲法守れのでっかい看板も立てたいとみんなで思案中です。

頑張っています 「内灘憲法九条の会」

内灘九条の会は名前を「内灘憲法九条の会」に改めました。月一回、各戸を訪問し「戦争反対憲法九条を守ろう」の賛同署名を集めているとき「内灘九条の会です！」と名乗ると「きゅうじょうのかい??？」とすっきり受け入れられないことが多かったので、「憲法」を挿入し相手にわかりやすく「内灘憲法九条の会」と名乗る事にしました。

毎月「9」のつく日にサイレント宣伝を行なって丸3年になります。「戦争NO・守れ憲法」と「9条生かし平和な世界を」の横断幕、そしてのぼり旗5本を交差点の一番見やすいところに掲げています。通勤通学の人たちにとっても目立つ存在になっているそうです。

また、月に一回、内灘町の町会毎にある公民館で、親子アニメ上映会「はだしのゲン」を開いています。今までに7回開てきました。子供が10人集まった会もありましたが、大人子供合わせて3人というさびしい会もありました。

次回は6月19日（金）に予定しています。子供に直接呼び掛けようと、下校時の子供に校門前で案内ビラをまきアピールしています。

その他、月一回ニュースを発行し会員に配布しています。

憲法講演会報告

九条の会・石川医療者の会

九条の会・石川医療者の会では、4月19日に「在日が見る憲法9条」と題する憲法講演会を元金沢高校教員の金乗権（キムビョンゴン）氏を迎えて開いた。

金乗権氏は日本の侵略戦争の歴史は、朝鮮から始まっており、その背後には常に米国が存在しており、現在でも朝鮮半島の非核化をめざす「六ヶ国協議」にみられるように北朝鮮とのかかわりが大きな焦点になっていると指摘。「六ヶ国協議」の要である朝米会談は、日本にとって「米国を支えるジュニアパートナーとして、集団的自衛権のために、武力行使もいとわない『普通の国家』に変貌して、戦後憲法の核心部分を一扫する...スタンス」と、姜尚中（カンサンジュン）東京大学教授の指摘を紹介し、米朝正常化をめぐる動きと憲法9条が密接に関連していることを強調された。